

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊勢崎市	名和地区	令和3年3月31日	令和6年3月19日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	341.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	231.3ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計(法人の耕作地は含まない)	50.5ha
i うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	17.8ha
ii うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	14.8ha
iii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	4.0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	15.3ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・地区内の現状として、70歳以上の農業者の耕作面積は、50.5haあり、うち後継者がいない、もしくは未定の耕作面積は32.6haとなっている。今後、地域の中心経営体が引き受ける意向の耕作面積は15.3haとなっているが、新たな担い手の確保が必要である。 ・田については農事組合法人を中心に、集積・集約しているが、畑については野菜農家の高齢化及び後継者問題に直面している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地利用については、集落営農法人や認定農業者等の担い手へ集積を行うことで、農作業の効率化と生産性の向上を進める。また、担い手の経営維持を図るため、後継者として若手農業者の人材確保を行う。地区外からの新規参入者等の受け入れについても検討する。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

・人・農地プラン地区座談会等の情報交換の場を定期的で開催し、現状の課題や今後の方針について情報共有をする。 ・新規就農者に対し地区内の認定農業者や集落営農法人を中心に育成支援を行うなど、受け入れ体制を強化する。
